

令和2年(2020年)度 第7回日本科学教育学会研究会(中国支部開催)プログラム

[テーマ] 未来に拓く科学教育研究とその実践

[日時] 令和3年(2021)6月12日(土)10:30~16:10

[会場] オンライン開催(試行)

[日程]

9:50~10:30 受付(発表者接続確認テスト)

10:30~10:40 開会

10:40~12:00 研究発表(午前の部)

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~14:20 研究発表(午後の部前半)

14:20~14:30 休憩

14:30~16:10 研究発表(午後の部後半)

16:10 終了

* 1研究発表あたりの持ち時間は年会の一般発表に倣い20分(発表15分, 質疑・討論5分)です。

[研究発表]

研究発表(午前の部)

座長 高原周一(岡山理科大学)

A01 10:40~11:00 小学校教職科目「理科教育法」における一人1模擬授業の実践と評価

○佐々木弘記(中国学園大学)

A02 11:00~11:20 水の状態変化と水蒸気爆発を理解するための教材の評価

○野村祐子(消防大学校消防研究センター)

A03 11:20~11:40 一般市民の数学学習と数学文化

○渡辺信(生涯学習数学研究所)・青木孝子(東海大学)

A04 11:40~12:00 (発表取消)

12:00 - 13:00 昼食・休憩

研究発表(午後の部前半)

座長 山中真悟(福山市立大学)

- A05 13:00～13:20 小・中学校学習指導要領(理科)及び教科書における「問題解決」と「探究」の変遷
○白山由希子(島根大学大学院教育学研究科)・栢野彰秀(島根大学教育学部)
- A06 13:20～13:40 小学校学習指導要領改訂に伴う小学校理科教科書における変化
○小野亘(広島大学大学院人間社会科学研究科)・中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)・清水欽也(広島大学大学院人間社会科学研究科)
- A07 13:40～14:00 ドイツ・Chemie im Kontext IIの研究－基本概念に注目して－
○寺田光宏(岐阜聖徳学園大学教育学部)
- A08 14:00～14:20 モンゴル国におけるイオンおよび電磁波に関するCLIL授業の実践
○高原周一(岡山理科大学)・坂本南美(岡山理科大学)

14:20 - 14:30 休憩

研究発表(午後の部後半)

座長 佐々木弘記(中国学園大学)

- A09 14:30～14:50 NIRSを用いた小学校向けプログラミングのデバッグ学習における脳活動の評価
○竹野英敏(広島工業大学情報学部)
- A10 14:50～15:10 小学校理科プログラミング学習への支援の在り方に関する事例的研究
○山中真悟(福山市立大学教育学部)
- A11 15:10～15:30 STEM時代の「手まきコイルを作る巻線機の制作と実験利用」-3
-手まきコイルの代表的な実験とICカードの模擬モデル実験-
○大隅紀和(京都教育大学名誉教授・OES研究所代表)・梅本仁夫(OES研究所・岸和田工房)
- A12 15:30～15:50 ICTを使った数学の授業
-中学校の第2学年「D データの活用」において-
○松村悠(山口大学大学院教育学研究科)・平塚旭(山口市立阿知須中学校)・佐伯英人(山口大学教育学部)
- A13 15:50～16:10 プログラミング教育の教員研修に関する一考察
-研修に参加した小学校教員の意識の調査より-
○森戸幹(周南市立富田西小学校)・鷹岡亮(山口大学教育学部)・佐伯英人(山口大学教育学部)